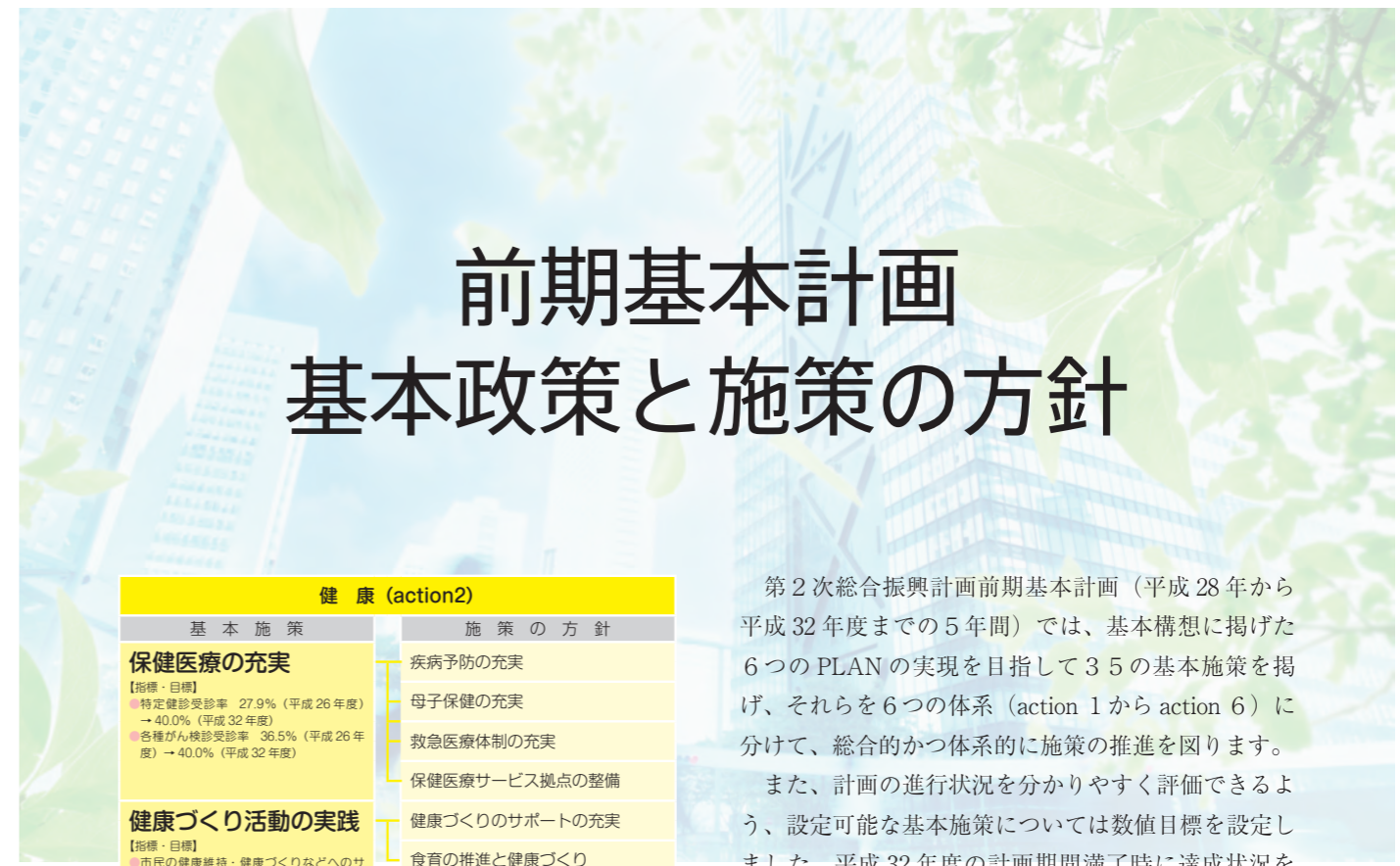


土地 (action4)	
基本施策	施策の方針
土地利用の適正化	適正な土地利用の推進
道路交通網の整備 【指標・目標】 ●道路が効率的・効果的に整備されていると考える市民の割合 42.5% (平成26年) → 50.0% (平成32年) ●都市計画道路の整備率 56.5% (平成26年度) → 58.0% (平成32年度)	幹線道路の整備
	市道の整備
新幹線開業に向けたまちづくり	北陸新幹線開業に向けた周辺整備
機能的なまちの整備と景観への配慮 【指標・目標】 ●公共交通機関が効果的に運行されていると考える市民の割合 24.8% (平成26年) → 26.0% (平成32年) ●景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合 22.3% (平成26年) → 25.0% (平成32年)	公園の整備
	住環境の整備
	駐車場の整備
	美しい景観と快適な暮らしの実現
公共交通体系の充実	
上水道事業の運営 【指標・目標】 ●安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合 78.4% (平成26年) → 80.0% (平成32年)	上水道の整備・運営
下水道事業の運営 【指標・目標】 ●計画区域内公共下水道接続率 91.0% (平成26年度) → 93.5% (平成32年度) ●下水道使用料収納率 97.5% (平成26年度) → 100.0% (平成32年度)	下水道の整備・運営

教育 (action3)	
基本施策	施策の方針
学校教育の充実 【指標・目標】 ●小・中学校の施設が充実し、学習しやすい環境が整備されていると考える市民の割合 58.2% (平成26年) → 60.0% (平成32年)	優れた環境における学校教育の実践 学校教育力の向上
青少年の健全育成 【指標・目標】 ●スポーツ少年団児童登録率 34.6% (平成26年度) → 38.0% (平成32年度)	青少年の健全育成
生涯学習の推進 【指標・目標】 ●公民館講座受講者数 43,313人 (平成26年度) → 52,000人 (平成32年度) ●生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考えられる市民の割合 41.7% (平成26年) → 45.0% (平成32年) ●図書館来館者数 63,275人 (平成26年度) → 70,000人 (平成32年度)	生涯学習の充実
生涯スポーツの推進 【指標・目標】 ●手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合 46.2% (平成26年) → 50.0% (平成32年)	生涯スポーツの推進 国民体育大会の推進 国体の推進
文化と芸術の振興 【指標・目標】 ●郷土歴史資料館入場者数 6,147人 (平成26年度) → 7,000人 (平成32年度) ●金津創作の森入場者数 130,841人 (平成26年度) → 160,000人 (平成32年度)	文化財の保護と継承 文化の振興 芸術の振興

地域社会 (action6)	
基本施策	施策の方針
市民主役のまちづくり 【指標・目標】 ●市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると考えられる市民の割合 19.6% (平成26年) → 25.0% (平成32年) ●行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合 49.9% (平成26年) → 55.0% (平成32年) ●ホームページアクセス数 (1日平均) 1,023件 (平成26年) → 1,200件 (平成32年)	市民と市との共働のまちづくり 市民意向の把握 行政情報の積極的な発信
情報化の推進	行政の効率化 市民サービスの向上 セキュリティの強化と体制の整備
人口減少対策 【指標・目標】 ●U・I・Jタウンの移住者数 (県およびあわらし市の移住施策による) 15人 (平成26年度) → 60人 (平成32年度) ●合計特殊出生率 (15歳から49歳までの年齢別出生率の合計) 1.42 (平成20年から平成24年平均) → 1.44 (平成25年から) ※人口動態保健所市区町村別統計による	推進体制の確立 新たな施策の推進
健全な行財政の運営 【指標・目標】 ●実質公債費比率 9.3% (平成26年度) → 9.0% (平成32年度) ●市税収納率 (現年度分) 98.2% (平成26年度) → 100.0% (平成32年度)	組織の管理と活性化 行政情報の適切な管理 事務事業の適正な執行と改善 透明で安定した財政運営

経済産業 (action5)	
基本施策	施策の方針
観光の振興 【指標・目標】 ●観光入込客数 181万9200人 (平成26年) → 220万人 (平成32年) ●宿泊観光客数 80万6300人 (平成26年) → 100万人 (平成32年) ●観光地としての魅力があると考える市民の割合 23.2% (平成26年) → 30.0% (平成32年) ●観光情報などが効果的に発信されていると考える市民の割合 23.4% (平成26年) → 30.0% (平成32年)	地域主体の観光まちづくりの推進 推進体制の強化と連携 広域連携と観光誘客の推進 地域資源、観光施設の維持管理
農業の振興 【指標・目標】 ●認定農業者数 106経営体 (平成26年度) → 110経営体 (平成32年度) ●坂井北部丘陵地の耕作率 69.0% (平成26年度) → 73.0% (平成32年度) ●学校給食における地元食材の使用率 50.2% (平成26年度) → 55.0% (平成32年度) ●新規就農者数 (市の認定による) 6人 (平成22年度～26年度) → 12人 (平成28年度～32年度)	農業経営基盤の強化 農業生産基盤の整備・充実 農業生産の振興 農業による環境の保全
林業の振興	林業基盤の整備と経営の強化
水産業の振興	水産業の振興
工業の振興 【指標・目標】 ●年間製造品出荷額 1752億円 (平成25年) → 1800億円 (平成32年)	企業誘致の推進と環境整備 既存企業への支援
商業の振興 【指標・目標】 ●年間商品販売額 200億円 (平成24年) → 200億円 (平成31年) ●日用品などの買い物物がしやすいと考える市民の割合 55.8% (平成26年) → 60.0% (平成32年)	商業の振興と市街地の活性化
雇用環境の充実 【指標・目標】 ●働きやすい環境が整っていると考える市民の割合 34.5% (平成26年) → 50.0% (平成32年)	雇用環境の充実
交流の推進	地域間交流の推進 国際交流の推進



前期基本計画 基本政策と施策の方針

第2次総合振興計画前期基本計画（平成28年から平成32年度までの5年間）では、基本構想に掲げた6つのPLANの実現を目指して35の基本施策を掲げ、それらを6つの体系（action1からaction6）に分けて、総合かつ体系的に施策の推進を図ります。

また、計画の進行状況を分かりやすく評価できるよう、設定可能な基本施策については数値目標を設定しました。平成32年度の計画期間満了時に達成状況をお知らせすることはもちろんのこと、年度ごとにも「行政評価」という形で公表していきます。

健康 (action2)	
基本施策	施策の方針
保健医療の充実 【指標・目標】 ●特定健診受診率 27.9% (平成26年度) → 40.0% (平成32年度) ●各種がん検診受診率 36.5% (平成26年度) → 40.0% (平成32年度)	疾病予防の充実 母子保健の充実 救急医療体制の充実 保健医療サービス拠点の整備
健康づくり活動の実践 【指標・目標】 ●市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合 58.0% (平成26年) → 60.0% (平成32年) ●健康づくりモデル・推進区数 42地区 (平成26年度) → 70地区 (平成32年度)	健康づくりのサポートの充実 食育の推進と健康づくり

地域福祉の推進と災害支援	
基本施策	施策の方針
地域福祉の推進と災害支援	地域福祉の充実 災害支援とボランティア活動の推進
人権の尊重 【指標・目標】 ●各種審議会委員に占める女性委員の割合 26.9% (平成26年) → 30.0% (平成32年)	人権の尊重 男女共同参画の推進
高齢者福祉の充実 【指標・目標】 ●高齢者や身体に障害のある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合 29.4% (平成26年) → 35.0% (平成32年) ●総人口に占める要支援および要介護認定者の割合 5.4% (平成26年) → 5.7% (平成32年) ※第6期介護保険事業計画による。本来は6.0%	高齢者福祉の推進 高齢者福祉サービスの充実 高齢者の社会参加の促進

障害者福祉の充実	
基本施策	施策の方針
障害者福祉の充実 【指標・目標】 ●高齢者や身体に障害のある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合 29.4% (平成26年) → 35.0% (平成32年)	障害者福祉の推進
児童福祉の充実 【指標・目標】 ●保育や相談事務などの子育て環境が充実していると考えられる市民の割合 55.4% (平成26年) → 65.0% (平成32年) ●こども園における幼児教育が充実していると考えられる市民の割合 58.6% (平成26年) → 65.0% (平成32年) ●子育て支援センター利用者数 9,311人 (平成26年度) → 10,000人 (平成32年度) ●放課後子どもクラブ登録率 27.9% (平成26年度) → 35.0% (平成32年度)	児童の健全育成 保育サービスの提供 子育て環境の整備と充実

社会保障制度の充実	
基本施策	施策の方針
社会保障制度の充実 【指標・目標】 ●1人当たり国民健康保険医療費 369,385円 (平成26年度) → 350,000円 (平成32年度) ●国民健康保険料の収納率 94.1% (平成26年度) → 100.0% (平成32年度) ●生活保護被保護世帯数 120世帯 (平成26年度) → 120世帯 (平成32年度)	国民健康保険事業の適正な運営 後期高齢者医療制度の適正な運営 国民年金制度の適正な運営 生活困窮者への支援

環境 (action1)	
基本施策	施策の方針
環境との共生 【指標・目標】 ●道路や空き地にこみなどが少なくまちが清潔だと考える市民の割合 65.3% (平成26年) → 75.0% (平成32年) ●市民・団体の環境イベント開催数 17回 (平成26年) → 30回 (平成32年) ●豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合 92.4% (平成26年) → 95.0% (平成32年)	環境意識の高揚 自ら考え行動する環境活動の推進 地域環境の保全 自然環境の保全 畜場等の適正な管理
循環型社会の構築 【指標・目標】 ●ごみ減量化や資源リサイクルが進んでいると考える市民の割合 64.5% (平成26年) → 75.0% (平成32年) ●市民1人1日当たりのごみ排出量 861g (平成26年) → 850g (平成32年)	ごみ減量化とリサイクルの推進 ごみ処理の適正化 低炭素まちづくりの推進 循環型社会の構築
地域防災の強化 【指標・目標】 ●自主防災組織の設立数 (全132区中) 94区 (平成26年度) → 120区 (平成32年度) ●避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合 35.8% (平成26年) → 40.0% (平成32年)	地域と密着した防災活動の推進 防災意識の高揚 防災基盤の整備・強化
安心なまちづくりの推進 【指標・目標】 ●犯罪が少なく安心して暮らせるまちだと考える市民の割合 72.7% (平成26年) → 75.0% (平成32年) ●交通事故発生件数 84件 (平成26年度) → 70件 (平成32年度) ●消費者保護対策が充実していると考えられる市民の割合 23.6% (平成26年) → 30.0% (平成32年)	防犯活動の充実 交通安全の推進 消費者保護の推進 特定空き家対策

